

特集 ⑤

えひめ結婚支援センターの ボランティア推進員として感じるもの

えひめ結婚支援センター ボランティア推進員 越智 千代美 (今治市)

ボランティア推進員との出会い

今から8年前、当時勤めていた保険会社の上司から、越智さんにピッタリのボランティア活動があると言われ、えひめ結婚支援センターの説明会に参加したことが、私がボランティア推進員になったきっかけです。えひめ結婚支援センターが開催する婚活イベントのお手伝いや交際をフォローし、幸せな結婚へと導く愛のキューピット役として活動するというものです。ボランティア推進員として認定された当初は、ホテルやレストランなどで開催される婚活パーティーへのお手伝いや、カップルになられた方への交際のフォローなどを行いました。しかし、なかなか成婚まで至らず苦悩の日々



が続きましたが、一年半が過ぎた頃、やっと一組の成婚カップルが誕生しました。成婚カップルから感謝の言葉を頂いた時には、涙が溢れるほど嬉しかったことを覚えていています。

「愛結び」について

えひめ結婚支援センターでは、イベント会場での会話は苦手という意見が多かったことから、1対1のお見合い事業の「愛結び」を4年前に開始しました。「愛結びサポーター」に任命された私の心構えは、良いところはとことん褒めて、良くないことは善処できるようにエールを贈ることです。

いい出会いに繋がるための 3つのポイントについて

お相手探しでは、女性は男性の年取や学歴、男性は女性の顔写真で選ばれることが多いようですが、理想のお相手は、

正直、いないと言っても過言ではありません。理想の相手が見つからないと良く耳にしますが、お相手探しの見方を変えることが重要です。これが1つ目のポイントです！

私が担当した成婚カップルは、ほぼ3ヶ月〜6ヶ月間の交際で結婚を決められています。やはり、第一印象が大切ということですが、容姿だけでなく内心から溢れる思いやりの心も重要です。私が事前にアドバイスしていることは、笑顔を絶やさないで下さいということです。笑顔は日頃から訓練してないと出来ません。これが2つ目のポイントです！

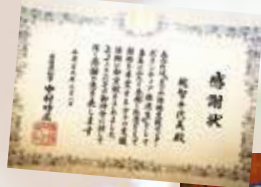
最近の

悩みとして、女性からのお断りが増えていることです。お引き合わせ



成婚カップル(まもなく赤ちゃんが産まれます)





に頼りきった恋愛経験が邪魔しているのかもしれない。結婚は恋愛とは異なります。女性は、男性の人生における最高のサポーター役であるという考えと、お互いを助け合うという気持ちが大切です。これが3つ目のポイントです！

成婚までの苦労話について

成婚に至るカップルは、お引き合わせ当日にデートやメール交換を行い、愛結びサポーターがあまり苦労せず、そのまま成婚ということが多いです。ただ、最近の傾向として、家族の反対で破局に至ることが多いのも事実です。ここで、成婚に至るまでに大変苦労した経験を紹介します。

お付き合いを始められて、4ヶ月目

をしても、すぐに価値観が合わないから無理と言われま

に、彼が女性の家に遊びに行ったのですが、母親に猛反対されました。その時の反対理由は、彼の学歴と仕事と年齢でした。女性は大学卒で年上、彼は専門学校卒の会社員で女性より年下でした。女性は何度も諦めようとしたのですが、彼は怯むことなく、「僕はいつまでも待っているから」という優しい態度でした。そこで私が出した結論は、「女性自身が母親と真剣に向き合うこと」でした。彼の良

これまでの実績

私の個人としての実績は、現在カップル成立数が約400人(200組)で、うち成婚数は12名(6組)です。今、お付き合いされているカップル数は約76人(38組)おられます。報告義務を課していないので成婚数はもう少しおられると思います。

人生の学びについて

私は、婚活支援を通して様々な学びを経験させていただいております。一人ひとりの気持ちに寄り添いフォローします。その中で、心がけていることは、お互いをサポーターしていくことで、お互いを支えあう心を持ち、人生の生き甲斐を見出していつて欲しいという願いです。パートナー探しには苦労がありますが、幸せな人生になるための努力と忍耐を持つことに気づいていただくように、「人生の学び」幸せな結婚、暖かい家庭づくりのために貢献していきたいと思っています。

現在、ボランティア推進員は200人を超えておられますが、私が頑張れるのは、いつでも相談できる仲間が大勢いるからだと思います。仲間と出会えたことは私の財産です。これからも人生の学びに感謝しながら、お世話やきおぼさん発揮していきたいと思っています！



ボランティア推進員